

第1部 総説

第1章 2021年度の経済産業政策の流れ（総論） 1

第1章 2021年度の経済産業政策の流れ（総論）

（本記述は、2021年4月時点において、2021年度（2021年4月～2022年3月）に取り組む経済産業政策の流れを記述するものです）

新型コロナウイルスへの対応

2020年は、新型コロナウイルスの感染が拡大して以来、事業と雇用を何としても守り抜くとの決意の下、緊急時対応の政策に重点を置いてきました。現下の緊急事態宣言により甚大な影響を受けている事業者には、一時支援金やイベントのキャンセル料支援等、必要な支援を迅速にお届けできるよう、引き続きしっかりと対応します。

こうした措置を講じるのと併せて、「新たな日常」に向けた産業構造や社会システムの転換にも、力を入れていかなければなりません。

ウィズコロナ・ポストコロナの時代に向け、グリーン社会の実現、デジタル改革、中小企業の事業再構築等を強力に推進します。併せて、サプライチェーンの再構築をはじめとするレジリエンスの強化などにも取り組みます。世界経済の情勢が不確実性を増している中、これまで以上に国内政策と一体となった対外経済政策を展開します。経済産業省の最重要課題である、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉と福島の復興についても、着実に歩みを進めます。

グリーン社会の実現

2020年10月、我が国は「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言し、年末には、「グリーン成長戦略」を成長戦略会議に報告しました。

2021年4月からは、米国主催の気候サミットや、G7、COP26などの国際会議も予定されている中、国際動向も注視しながら、大胆な投資による革新的イノベーションの創出、エネルギー・産業構造の転換に向けた取組を大幅に加速していく必要があります。

このため、2兆円の「グリーンイノベーション基金」を造成し、鍵となる革新的な技術の研究開発・実証から社会実装までを継続して支援します。成長に資するカーボンプライシングのあり方についても、結論ありきではなく、幅広い議論を進めます。

「2050年カーボンニュートラル」に向けては、温室効果ガス排出の8割以上を占めるエネルギー分野の取組が重要です。徹底的な省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの最大限の導入、原子力を含むゼロエミッション電源の活用に取り組むとともに、火力発電の脱炭素化に向けた取組も進めます。

2020年の冬は電力需給の逼迫に直面し、電力の安定供給の重要性も、改めて浮き彫りとなりました。今後の電力の安定供給や市場制度のあるべき姿を達成すべく、包括的な検証を実施し、必要な制度対応をしっかりと検討します。

エネルギー基本計画の見直しについては、こうした観点を踏まえながら、総合資源エネルギー調査会において、検討を加速します。

こうした中で、東京電力柏崎刈羽原子力発電所において、核物質防護に関する重大な事案が発生したことは大変遺憾であり、事業を所管する経済産業省としても、東京電力が強い危機感と緊張感を持って抜本的な対策を講じるよう、しっかりと指導・監督を行います。

デジタル化への対応

グリーン成長を支えるのは、デジタル技術を効果的に活用する社会であり、「グリーン」と「デジタル」は、車の両輪です。また、新型コロナウイルスへの対応という意味でも、デジタルトランスフォーメーションの必要性はかつてないほどに高まっています。

このため、5Gを始めとした新たな情報通信技術・インフラの進展など、時代の変化を正確に捉え、我が国における半

導体産業やデジタル産業の競争力の強化、その前提となるインフラの整備、人材の育成を進めます。

また、異なる分野のシステムやデータをつなぐための技術標準の策定、モビリティやバイオなどの分野における企業を越えたデータの共有、AI・ロボット・ドローンなど、デジタル社会を支える技術の研究開発を進めるとともに、キャッシュレス決済の普及や展示会等のデジタル化も促進します。

「新たな日常」に向けた事業再構築

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、我が国経済は戦後最大の落ち込みを記録し、危機に直面していますが、これは、古い経済社会システムから脱却し、「新たな日常」への構造変化を図るチャンスでもあります。

成長戦略としての2050年カーボンニュートラルの実現、デジタル化への対応とともに、「新たな日常」に向けた事業再構築も進めることで、我が国産業の持続的な発展を図るため、「産業競争力強化法等の一部を改正する等の法律案」を第204回国会に提出しました。

本法律案には、人口が急速に減少する中、地域の経済や雇用を支える小規模事業者の持続的な発展を図りつつ、中小企業から中堅企業への成長を促すことで、海外で競争できる企業を増やしていくための措置や、コロナ禍を踏まえ、バーチャルのみで株主総会を開催することができる特例措置なども盛り込みました。

中小企業の足腰の強化

中小企業・小規模事業者は、全国3000万人を超える雇用を支える、我が国経済の屋台骨です。しかしながら、人手不足や高齢化といった構造変化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による事業環境の激変、働き方改革や社会保険の適用拡大といった制度変更への対応など、相次ぐ様々な課題を乗り越えていかなければなりません。

廃業が増加傾向にある中、まずは、円滑な事業承継に取り組みます。中小企業成長促進法や、「第三者承継支援総合パッケージ」に基づく支援を、引き続き実行します。

その上で、生産性革命推進事業により、中小企業のデジタル化、技術開発、海外を含む販路拡大を支援します。加えて、総額約1兆1000億円の事業再構築補助金により、思い切った新分野展開や業種・業態転換による生産性向上も後押ししていくとともに、生み出した付加価値が着実に中小企業に残るよう、大企業等との取引環境の改善にも取り組みます。中小企業の経営基盤を強化し、中堅企業への成長を一層強力に後押しします。

経済活動の変化に対応するための知的財産制度の見直し

デジタル化、リモート・非接触など、経済活動のあり方が大きく変化したことを受け、知的財産制度も見直すこととし、「特許法等の一部を改正する法律案」を第204回国会に提出しました。審判の口頭審理のオンライン化や、印紙予納の廃止・料金支払い方法の拡充、デジタル化等の進展に合わせた権利保護の見直し等を行います。

レジリエンス、健康・医療

医療物資のみならず、自然災害や技術流出等も含め、リスクに対して強靱な経済社会を構築するため、経済と安全保障を一体として捉えた政策を進めます。

まず、自然災害に備え、分散型エネルギーの導入や燃料供給体制の強化を進めるとともに、メタンハイドレート等の国産海洋資源開発を進めます。また、半導体やレアアースなど機微技術や重要物資に係るサプライチェーンの強靱化を図るため、関係各省とも連携し、国内外の重要技術の動向調査や、技術開発や統合的な流出防止策を進めます。さらに、人工呼吸器、検査機器、バイオ医薬品等の国内での開発体制及び製造基盤の確立にも取り組みます。

国内政策と一体となった対外経済政策

米中関係の緊張の高まり、英国のEU離脱等が起こる中で、我が国は自由貿易の旗手として、自由で公正なルールに基づく国際経済体制を主導します。そうした取組の一環として、2020年11月に署名したRCEP協定の速やかな締結、発効を目指します。

WTO新事務局長が任命されたというモメンタムを活かし、米国も巻き込みながら、国際貿易秩序の維持・強化に最大の貢献をします。その際、「信頼性のある自由なデータ流通」のための国際ルール作り、海外における脱炭素インフラ導入の支援等、国内政策との一体性を、より一層強化します。

東京電力福島第一原子力発電所の廃炉・福島の復興

そして、経済産業省の最重要課題である「廃炉と福島の復興」です。東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故から、十年の月日が経過しました。改めて、犠牲となられた多くの方の御冥福をお祈りし、被災された全ての方々に、心からお見舞い申し上げます。

原子力災害からの復興の大前提である廃炉は、一步一步前進してきましたが、引き続き、「中長期ロードマップ」に基づき、安全確保最優先・リスク低減重視の姿勢を堅持しつつ、地域・社会とのコミュニケーションを一層強化して進めます。

ALPS処理水の処分方針の決定は、廃炉を安全かつ着実に進めるためにも、先送りのできない課題です。関係者の御意見を受け止めつつ、政府として責任を持って、処分方針について適切なタイミングで結論を出していきます。

福島の本格的な復興に向けては、事業・なりわいの再建、福島イノベーション・コースト構想の推進を両輪で進め、地元企業の事業再開や新たな事業展開を後押ししつつ、地域に産業を根付かせていきます。

交流人口の拡大も重要です。福島県と協力して、浜通り地域へ人を呼び込み、地元での消費を拡大することで、産業復興の加速に加え、移住・定住の促進にも繋がります。

帰還困難区域については、特定復興再生拠点区域の避難指示解除に向けて、着実に環境整備に取り組みます。拠点区域外についても、「自宅に帰って住みたい」という声を重く受け止め、各自治体の個別の課題や要望を丁寧に伺いながら、責任を持って、対応方針を検討します。

2021年3月に発生した福島県沖を震源とする地震では、とりわけ被害の大きかったホテル・旅館など、中小・小規模事業者の被害について、一昨年の台風19号と同様のグループ補助金の特例を設けました。東日本大震災の被災地の方々の、復興に向けた希望が失われないよう、被害実態に合わせた復旧・復興支援にも取り組みます。